

作成日 2018年 8月 31日

S-Racing

8月活動報告書



摂南大学 全学フォーミュラプロジェクト
大阪府寝屋川市池田中町 17-8

Contents

- ・ チーム活動報告……………P3
- ・ 今後の活動予定……………P6
- ・ スポンサー様一覧……………P7

メンバー一覧

3回生	小嶋 優斗 (チームリーダー)	
	加藤 憲佑	
	宮内 歩乃佳	
2回生	山中 祥太	
	松賀 裕大	
1回生	小川 啓輔	市村 駿弥
	清水 唯	佐野 遥輝
	土屋 宇	式見 昌樹
	垣内 拓真	斐 永鎬
	杉原 匡輔	水野 慎悟
	西澤 輝敏	近藤 大

チーム活動報告

➤ 関西支部合同試走会

全日本学生フォーミュラ大会の動的種目における本学の成績向上を図るために、8月11,12日に各大学合同の関西支部合同試走会を泉大津フェニックス（大阪）で行いました。1日目は動的審査のアクセラレーション（加速度テスト）、スキッドパット（8の字走行）を行いました。ですがマシン走行中、エンジンの回転数を上げられないためにスピードを出すことが出来ませんでした。この課題については後日、学内での試走会にて再現性の確認を行う予定です。さらにこの日の反省点としては準備不足が多かった点です。この準備不足に関してはチェックリストが未完成であった為であり、今回の試走会で準備不足となった物を追加して大会までにチェックリストを完成させます。2日目は動的審査のオートクロスを行いました。本学のオートクロスの記録は、1分15秒が最短で1分30秒が最長になりました。他大学では約50秒前後なのでその記録に追いつけるようにマシンの修正及び、ドライバーの習熟度の向上を目標に活動を行っていきます。他の反省点として、ステアコラム（ハンドル機構のV字部分）の中に鉄粉が溜まって、最後の走行時マシンがカーブしなくなった点があります。このチーム初の試走会での走行は多数のトラブルがあり満足のいくものではなかったですが、トラブルの洗い出しができた点、各メンバーが試走会中や大会中での動きを知ることが出来た点など得るものが多くありました。今後、この問題点の改善を行なっていきます。



図1 走行の様子



図2 ステアコラム



図3 マシン整備の様子

➤ 学内試走会

8月18,19日に学内試走会を本学の学内駐車場で行いました。行った内容は、関西合同試走会と同様に動的審査のスキッドパット、オートクロス、エンデュランスを行いました。1日目はスキッドパットを行いましたが、学内駐車場では走行させる面積がないので8の字コースではなく、円のコースでの走行を行いました。しかし走行時マシンを支える足回りに取り付けられているベルクランクがマシンの荷重に耐えられずに曲がってしまいました。そのため、18日はベルクランクの調整を行いました。2日目はエンデュランスの走行試験、走行を終えてから燃費測定を行いました。去年の燃費は約5ℓでしたが今年の燃費は2.3ℓとなり去年に比べて約2ℓの減少に成功しました。この燃費が向上した要因はマシンの総重量が去年と比べて約40kg減量したためと考えています。

今回の試走会で足回りとなるサスペンションの機構がうまく調整できていないことが分かりベルクランクの調整を大会まであとわずかですが行っていきます。



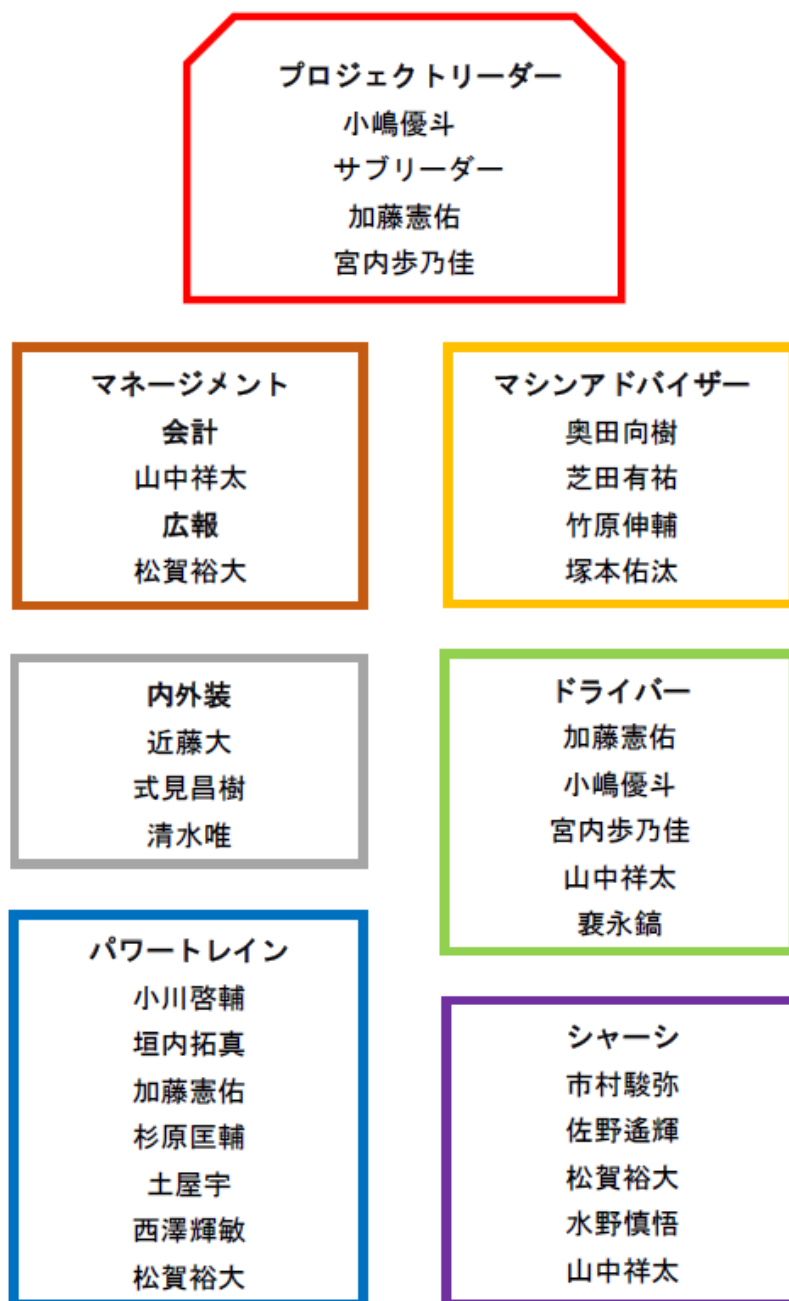
図4 マシン走行



図5 曲がったベルクランク

各担当の配置図

8月になり今年のチームリーダーが変更になったために、本プロジェクトメンバーの再編成を行いそのメンバーの配置図を作成しました。今年度の大会はこのメンバーで行っていききたいと思います。



今後の活動

今月は本大会に向けてのマシンの修正をするのみとなりました。大会まで残り数日となり楽しみや緊張などがありますが、1年間かけて作ってきたマシンの実力を発揮できる場なので、万全を期した状態で本大会に臨みます。今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。

2018 年度 摂南大学 全学フォーミュラプロジェクトメンバー 一同

報告書作成

理工学部機械工学科 2年 松賀 裕大



スポンサー様一覧（順不同、敬称略）



ゼネラルエンジニアリング株式会社



FUKAI



株式会社 小松行永商店



CAM Solution Company



NHKニッパツ

southco[®]

ご支援・ご協力ありがとうございます。